

開講科目名	日本文化演習 IB				
成績入力担当	實平 雅夫			開講区分	単位数
				第2クォーター	0.0単位
ナンバリングコード	R1IG010	曜日・時限等	月4(対面)	時間割コード	

授業のテーマ

授業のテーマ：初級から初中級レベルの日本文化を総合的に身につける。

授業の到達目標

1. 日常的な内容の、日本文化を日本語で理解できる。
2. 身近な日本文化について日本語で聞けて、話せる。

授業の概要と計画

詳細はBEEF+にて指示する。シラバスは変更される可能性がある。最新情報は授業に出て確認すること。
<https://beefplus.center.kobe-u.ac.jp>

詳細は以下のとおり。

入門レベルの学習者対象の初歩日本文化日本事情

授業計画は以下のとおり。

- 第1回6/15 ガイダンス、学習事項確認、産業
- 第2回6/22 教育
- 第3回6/29 生活
- 第4回7/6 私の国と日本1
- 第5回7/13 私の国と日本2
- 第6回7/22水曜日 試験
- 第7回7/27 振り返り、フィードバック
- 第8回8/3 課題学習

週1回 全8週

1科目15時間

成績評価方法

試験 60%

授業への参加度及び発表、 40%

※出席率70%以上を満たすことが、成績評価の前提条件となる。すなわち、この条件を満たさない場合、自動的にF（不可）とする。

成績評価基準

1. 日常的な内容の、日本文化を日本語で理解できる。
2. 身近な日本文化について日本語で聞けて、話せる。

履修上の注意（関連科目情報）

本授業は、同教員が担当する第10日本文化演習 ⅠAと連続で開講する授業科目のため、両方の授業を必ず履修すること。

本授業は初中級レベルの授業である。履修希望者は、初級レベルの学習を終えているか、GEC-JTestのレベルが初中級であること。

<https://gec-jtest.jp/>

交換留学生受講可：【留学生に求める能力】日本語に関する初中級レベルの用語について日本語で理解できることを求める。

日本文化に関する情報検索・資料作成のため教育のためパソコンを持参のこと。

事前・事後学修

各課の語彙の予習が求められる（プリントを配布）。また、復習として、課末問題シートが課される。

本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

オフィスアワー・連絡先

火曜日 12:30-14:00（事前連絡要）

sanehira[AT]kobe-u.ac.jp 078-803-5276

※上記のアドレスの[AT]の部分を実アットマーク@（半角）に置き換えた上で、宛先に入力。

学生へのメッセージ

授業外でも、日本人学生の集まりや、地域のホストファミリープログラムなどに参加し、交流を楽しもう。

今年度の工夫

授業内外で日本人学生との協働学習の機会を設けることがある。

教科書

主要教科書：『イラスト日本まるごと事典』

/ インターナショナルインターンシッププログラムス：講談社インターナショナル，2009，ISBN:9784770041142

参考書・参考資料等

授業における使用言語

日本語

キーワード

日本文化、初中級、日本語、パソコン、交換留学生（特別聴講学生）可、授業への参加度、対面授業